

### ボルグワーナー、「IAAモビリティ2025」で 多様な駆動システム向け製品を展示

- 電気自動車の航続距離と利便性を向上させるレンジエクステンダーモジュール
- ボルグワーナーのトルクマネジメントソリューションは、多様なインテリジェント技術を提供し、駆動力および効率の向上を実現
- 次世代サーマルモジュールとボルグワーナーのヒーター技術を組み合わせることで、ハイブリッド車およびバッテリー電気自動車向けのアーキテクチャにおいて高いエネルギー効率を実現

革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供するグローバル製品リーダーのボルグワーナー（NYSE: BWA/本社：アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者：ジョセフ・ファドゥール/ Joseph Fadool）は、ミュンヘンで開催中の「IAA モビリティ 2025」で、電気自動車、ハイブリッド車および内燃機関車向けの次世代技術を公開しました。

「IAA モビリティ 2025」では、レンジエクステンダー、最新世代のインバーター、eターボおよびeブースターソリューション、高電圧ヒーター、統合型サーマルモジュール、eクーラー、高電圧eファンといった先進的な熱管理技術などを展示します。また、トルクマネジメントシステム（TMS）のポートフォリオも紹介し、駆動システム全般で最先端のソリューションを提供していく姿勢を示しました。

ボルグワーナーのレンジエクステンダーモジュールは、内燃機関と組み合わせることで、排出ガス性能を損なうことなく電気自動車の航続距離と利便性を向上させます。次世代のインバーターおよびパワーエレクトロニクスは、高出力密度と優れた熱特性を実現し、より小型で効率的な電動駆動システムを可能にします。

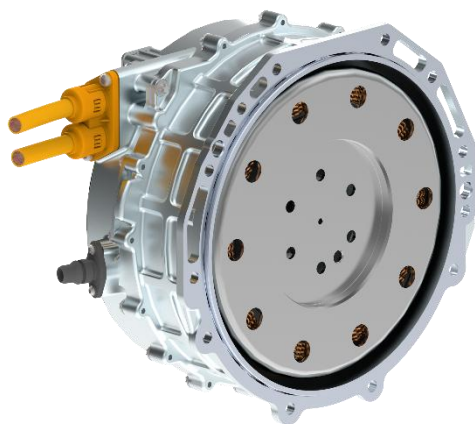
ドライブトレイン用途において、同社のeTMS製品群は、安全性、操縦性、効率を向上させることを目的に設計されたアクティブシステムで構成されています。eTMSには、スリップ制御や駆動モジュールの

切り離しを含め、各ホイールへのトルクをオンデマンドで制御する統合型エレクトロニクスおよびソフトウェアが搭載されています。

また、ボルグワーナーの熱管理ソリューション(高電圧ヒーター、サーマルモジュール、バッテリー用 e コーラー、パワーエレクトロニクス用 e コーラー、高電圧 e ファンなど)は、駆動システムの各要素およびキャビンの最適温度を維持するよう設計されており、あらゆる車両アーキテクチャにおいて高い安全性、性能、エネルギー効率を実現します。

ボルグワーナーの副社長兼最高戦略責任者(CSO)のポール・ファレル博士は、「ボルグワーナーのイノベーションは、自動車メーカーに対し、拡張性、効率性、将来対応力に優れた技術を提供します。電動化ニーズの高まりを受け、ポートフォリオを拡充し続けるとともに、すべての駆動システムにおいて卓越した技術を維持してまいります。」と述べました。

また、ボルグワーナーの副社長兼最高技術責任者(CTO)であるハリー・ハステッドは、「これらの技術は、顧客が多様な車両プラットフォームにおいて最適な性能、効率、統合性を実現できるよう設計されています。IAA モビリティ 2025 への出展は、駆動システム分野におけるボルグワーナーのリーダーシップを示すものです」と述べました。



電気自動車の航続距離と利便性を向上させる、ボルグワーナーのレンジエクステンダーモジュール

### ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界の e モビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

本リリースには、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく1995年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act)で想定された、将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組

み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」、およびこれらの語句の変化形や類似のものは、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、本リリースに含まれる、または参照する形で盛り込まれる、歴史的事実に関する記述を除く、当社の財務状況、事業戦略、および当該戦略を実施するための方策(事業の変更、競争力、目標、事業およびオペレーションの拡大・成長、計画、将来の成功への言及、その他の事項を含む)に関する、当社が将来発生すると期待または見込むすべての記述は、将来予測に関する記述です。最近提出されたフォーム 10-K(「Form 10-K」)年次報告書の第7項「重要な会計方針および試算(Critical Accounting Policies and Estimates)」に記載されているような会計上の試算は、性質上、将来予測に基づくものです。すべての将来予測に関する記述は、当社の経験、当社の歴史的動向に関する解釈、現在の状況、予想される将来の展開に関する認識、および現況において適切と考えられるその他の要因に照らして当社が行った仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定または示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。

本リリースの発行日現在における事柄を述べたものであるこれらの将来予測に関する記述を過度に信頼すべきではありません。将来予測に関する記述はリスクや不確実性を伴うものであり、その多くは予見困難であり、一般的に不可抗力によるものであるため、実際の結果は将来予測に関する記述で表明、予測、または示唆されているものとは大きく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性の代表的な例として、次のものがあげられます。当社または当社の顧客に影響を及ぼす供給の混乱、商品の入手可能性および価格設定、ならびにこれらのコストに関する顧客との交渉において期待されるレベルの回収率を達成できないこと；受託製造会社(OEM)の顧客を含む既存および新規の競合他社による競争上の課題；急速に変化する技術、特に電気自動車に関連する技術的課題、およびそれに対応する当社の技術革新能力；電気自動車に対する需要および電気自動車の売上成長を予測することの難しさ；戦争やその他の地政学的紛争によって引き起こされる世界経済の潜在的な混乱；適切な条件で買収対象を特定し、買収を完了する能力；買収によって期待される利益を適時に実現できない可能性；2023年に旧燃料系システム部門とアフターマーケット部門を非課税分社化して別個の株式公開企業としたことによる意図した利益が得られない可能性；取得事業を迅速かつ効率的に一体化できない可能性；取得事業に関する未確認または推測不能な債務の可能性；自動車およびトラック生産への依存性(いずれも景気に大きく左右され、混乱の影響を受けやすい)；大手OEM顧客への依存性；一部のOEM顧客における将来的なストライキの影響および当該OEM顧客の対処法；金利および外国為替レートの変動；情報システムへの依存性；世界的な経済環境の不確実性；様々な申し立てに関する訴訟を含む既存または将来の法的手続き、または関連する訴訟を含む政府による調査の行方；当社が事業を行っている国における税金や関税を含む法律や規制の将来的な変更；将来起こりうる買収または譲渡による影響；当社が証券取引委員会に提出する報告書(直近のForm 10-Kおよび/またはForm 10-Qの第1A項「リスク要因」)に記載されたその他リスク、など。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる事象、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新・改訂内容を公表する義務を負いません。

#### <報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中込、浜辺

TEL: 090-7739-3601(中込)、080-2032-2924(浜辺)

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp